

戦略企画雇用経済常任委員会 所管事項説明資料

○ 所管事項説明

- (1) 平成26年版 成果レポート（案） 別冊1
- (2) 「みえ産業振興戦略」について 1
- (3) 「食」に着目した新たな産業振興について 3
- (4) 雇用施策の推進について 5
- (5) 中小企業・小規模企業の振興について 7
- (6) 三重県企業国際展開の推進について 9
- (7) 首都圏営業拠点「三重テラス」の実績及び今後の取組について . . . 11 別冊2
- (8) 三重県観光キャンペーンについて 19 別冊3
- (9) 各種審議会の審議状況の報告について 21
- (10) 景気動向調査結果報告について 別冊4

平成26年6月19日

雇用経済部

(2) 「みえ産業振興戦略」について

1 『みえ産業振興戦略』アドバイザーボード」の開催

(1) 平成 26 年度第 1 回会議の論点

平成 26 年 5 月 20 日（火）、三重テラスにおいて『みえ産業振興戦略』アドバイザーボード」を開催し、策定後 2 年経過した「みえ産業振興戦略」について、平成 27 年度改訂を見据えた意見を得るため、以下の項目を論点として意見交換を行いました。

- ① 「みえ産業振興戦略」の進捗及び成果を踏まえ、今後どう取り組むか
- ② ICT・ビッグデータを活用した産業振興や、「食」に着目した産業振興、県内企業等の国際展開の推進について、効果的な方策は何か
- ③ 「みえ国際展開に関する基本方針」のローリング等に関して、重点的に取り組む国・地域の位置づけや新規分野での展開など見直しする際のポイントは何か

(2) 今後の取組方向

アドバイザーボードにおける各委員の意見を踏まえ、「すぐに取り組めるもの」「中長期的に取り組むもの」に整理し、平成 27 年度の改訂に内容を反映させるよう検討を進めていきます。

(3) 各委員からの意見概要【平成 26 年度第 1 回】

- ① ICT・ビッグデータを活用した産業振興
 - ・例えば、治験医療ネットワークによる医療データ（ビッグデータ）の蓄積があるのは三重県の強みであるが、三重県にはこれを活かせるプレーヤーがない点が課題である。
- ② 「食」に着目した産業振興
 - ・欧米では日本食ブームとなっている。この機会を活かすためのマーケットリサーチが必要である。
 - ・食文化の継承・発展などを目的とする人材育成機関として、「食の大学院」を検討してはどうか。
- ③ 観光振興
 - ・外国人観光客に向けてアプリなどを利用したナビゲートシステムを構築してはどうか。
 - ・製造業からサービス産業へのシフトを進めるにあたっては、サービス産業の高度化の視点が必要である。シンガポールの統合型リゾートを参考に、三重県版統合型リゾートを検討してはどうか。
- ④ その他（県内産業の活性化に向けて）
 - ・三重テラスをインプットさせるため、ブランド戦略が必要である。
 - ・北勢地区は名古屋に近く、介護サービス提供地域としての可能性を感じるので、「介護」の面から戦略を立てられるのではないか。
 - ・途上国において、公害問題がクローズアップされる中、四日市は公害を克服したコンビナートとして、環境技術を海外に売り込んでいくチャンスである。
 - ・コンビナートの遊休地の活用、学校の跡地利用など従来の社会インフラをうまく利用することが重要である。

(3)「食」に着目した新たな産業振興について

1. 現状（背景・課題）

昨年、「和食」が「日本人の伝統的な食文化」としてユネスコの無形文化遺産に登録され、世界から日本の食や食文化が注目されています。

県南部の「志摩国」は、古くから朝廷に海産物を献上する「御食国（みけつくに）」として知られており、現在でも、あわびや伊勢えびなど海産資源に恵まれるとともに、海女漁など食に関する多様な文化も引き継がれています。

また、県内には、医薬・健康分野にまで展開する食品関連企業や2,000品目以上の製品を扱う研究開発型企業、伊賀焼や萬古焼など食空間を彩る伝統工芸など、食に関連する産業が多数立地しています。

さらに、「高校生レストラン」で有名な相可高校など、県内の高校や専門学校において、食に関する多様な人材が育成されています。

このように三重県は「食」に関して、産業、資源、歴史文化、教育などの様々な面において、特別な環境を持つにも関わらず、戦略的な情報発信が十分ではなかったため、「食のサミット」、「全国菓子大博覧会・三重」などを最大限に活用して、食のクラスター形成に取組み、三重の認知度やブランド力の向上、さらには県内誘客の拡大や県産品の販路拡大など食の産業振興につなげていきます。

2. 平成26年度の実施

(1) 食のサミットの開催

三重県における「食」の産業振興と「食」への感謝をコンセプトに、生産者、食品メーカー、小売・流通業、教育関係者など幅広い「食」の関係者が、三重の「食」のプラットフォームに取組む「食のサミット」（オープニングセレモニー及び文化シンポジウム）を10月14日から15日にかけて、伊勢市内で開催します。

(2) ミラノ国際博覧会出展に係る調査

2015年5月から10月まで「食」をテーマにミラノ国際博覧会が開催され、日本館の出展が決定しています。そこで、三重県は多様な魅力を世界に向けて発信し、海外への販路展開につなげたいと考えており、その有効性を検証するため、事業可能性（FS調査）を行い、その結果を踏まえて、出展するかどうかを決定していきます。現在、受託事業者が決定し、出展対象の現状調査、海外展開にかかるリスク等8月末の報告書提出に向けて、作業を進めています。

(3) 全国菓子大博覧会の決定

全国菓子大博覧会は、明治44年第1回からほぼ4年に1度開催され、和菓子を中心に洋菓子等も含めた日本最大の菓子業界の展示会です。

5月27日に開催された全国菓子工業組合連合会の総会において、第27回全国菓子大博覧会が平成29年に伊勢市で開催が正式決定したとの連絡が三重県菓子工業会組合よりありました。開催会場は三重県営サンアリーナ、開催時期は平成29年4月から5月の予定です。

(4) 「地域活性化モデルケース」として選定

農林水産部の「フードイノベーション」の取組や健康福祉部で取り組んでいる医療情報データベースを活用した高付加価値食品等の研究開発など、「食」を切り口とする三重県の取組が国の「地域活性化モデルケース」に選定されました。

選定のメリットとして、国から関係省庁の担当課長を集めた政策対応チームが派遣され、県の取組に関して国のコンサルティングを受けることができます。また、既存の国の支援策や制度で対応できない課題等については、平成27年度の予算編成や税制改正・制度改正の議論の中で解決に向けた検討がなされることとなっています。

(4) 雇用施策の推進について

1 ステップアップカフェ（仮称）

(1) 取組状況等

ステップアップカフェ（仮称）については、三重県総合文化センター男女共同参画センター「フレンテみえ」1階ふれあいコーナーに整備することとしています。

現在運営事業者を公募しており、今後選定した事業者と協議のうえ、

- ① 障がい者の訓練の場としてカフェ事業
- ② 障がい者就労支援施設の商品販売や展示などのブラッシュアップ事業
- ③ 障がい者の職場実習の受入や障がい者との交流イベントの実施などのコーディネート事業

に取り組むことで、障がい者雇用への理解が進むとともに、障がい者が社会で働くための能力を身につけることができる場にしていきたいと考えています。

(2) 今後のスケジュール

7月中旬	運営事業者の決定
7月中旬以降	改修工事等
12月中	カフェオープン

2 女性の就労支援

(1) 現状と課題

平成25年度「子育て中の女性の就労意識に関するアンケート調査」の結果では、離職ブランクや家庭と仕事との両立への不安、勤務時間等の働き方の企業ニーズとのミスマッチ等が再就職への阻害要因としてあげられています。

また、県が実施してきた就労相談においては、家事・育児の両立に向けた仕事の選び方といった就活方法の相談が多く見受けられる状況にあります。

こうしたことから、女性が継続して就労できる職場環境づくりと、女性のニーズに応じた再就職支援を充実させることが課題となっています。

(2) 取組状況

女性に向けての再就職支援と合わせて、企業においても子育て期等の女性を新戦力と位置づけ、マザーズ雇用に対する理解を図りながら、企業と女性とのマッチングの観点も含めて、一体的な再就職支援となるよう、地域人づくり事業の一部として、次の2つの事業に取り組みます。

①女性の再就職支援事業

これまでも実施してきた就労相談に加えて、女性向け及び企業向けセミナー開催、県内企業と求職中の女性のマッチングイベントの開催、求人や子育て支援などの再就職に関する情報を提供するためのWEBサイトの構築等の再就職支援事業を実施します。

②子育て女性の再チャレンジ促進事業

離職ブランクのある女性を対象に、事前研修と県内中小企業でのインターンシップ事業を実施します。現在、企画提案コンペにより受託事業者を募集しているところであり、事業実施に向けて取り組みます。

3 地域人づくり事業

(1) 事業の目的

地域経済を活性化し経済成長を確実なものとするために、地域において、産業や社会情勢等の実情に応じた多様な「人づくり」により、雇用の拡大を図るとともに、賃金の上昇などの処遇改善に向けた取組を推進します。

(財源)

緊急雇用創出臨時特例交付金 27.25億円(平成26年3月に交付済)

(2) 対象事業

①雇用拡大プロセス(失業者の就職に向けた支援)

未就職卒業者や再就職を希望する女性等の失業者を雇用し、OJTとOFF-JTを組み合わせた人材育成を行う事業や、就職支援セミナー・合同就職説明会等の就職支援事業を行います。

②処遇改善プロセス(在職者の処遇改善に向けた支援)

在職者の賃金上昇、定着支援、正社員化などの処遇改善に向けた取組への支援を行います。

(3) 取組状況

事業者が創意工夫をもって自ら考える雇用拡大や処遇改善の企画提案を募集したところ、

- ・製造業・農業・観光業など様々な業種からの雇用型人材育成事業
- ・U・Iターン希望者を対象としたセミナー等を実施する事業
- ・海外への販路拡大により売上の上昇を図り従業員の賃金上昇につなげる事業など、あわせて100件の申請があり、現在、内容を審査しています。

また、女性、若者、障がい者の雇用拡大を図るため、就職直結型インターンシップや地域若者サポートステーションと連携した若者の就労支援、女性や企業向けのセミナーや職場実習等による女性の再就職支援、障がい者の実習訓練等に関する事業等について、事業を開始したり、受託事業者の募集を行っているところです。

今後、県の各部局や関係機関、各商工団体等とも連携し、事業の円滑な実施に努めます。

(5) 中小企業・小規模企業の振興について

1 三重県版経営向上計画の認定

多様な中小企業・小規模企業がその発展段階に応じて作成する計画を認定し、企業の成長と三重県経済の活性化を図ることを目的に、県独自の経営の向上に係る計画（「三重県版経営向上計画」）の認定制度を創設し、4月17日から申請受付を開始し、6月2日には、県内5地域に各1名の地域インストラクターを配置しました。

今後は、地域インストラクターと商工団体の経営指導員が二人三脚で、事業者と対話しながら、計画の作成支援とブラッシュアップ、計画のフォローアップを行うなど、丁寧な支援に努めてまいります。

地域	配置場所
北勢	四日市商工会議所(四日市市諏訪町2-5)
中南勢	松阪商工会広域連合(多気郡明和町大字竹川566)
伊勢志摩	伊勢市産業支援センター(伊勢市朝熊町4383-469)
伊賀	上野商工会議所(伊賀市上野丸之内500)
東紀州	東紀州商工会広域連合(北牟婁郡紀北町紀伊長島区長島2141)

2 よろず支援拠点及び事業引継ぎ支援センターの開設

6月2日、「よろず支援拠点」及び「事業引継ぎ支援センター」が三重県産業支援センターに開設されました。

今後は、三重県産業支援センターと連携し、中小企業・小規模企業の抱える課題解決に向けて、相談支援に的確に対応してまいります。

(1) よろず支援拠点（相談無料）

よろず支援拠点は、豊富な経験を持つコーディネーター等が、広く中小企業・小規模企業の経営上のあらゆる相談に応じ、経営課題を分析して、

①既存の支援機関では十分に解決できない経営相談にも応じる総合的・先進的経営アドバイス

②事業の課題に応じた支援チーム等の編成支援

③地域の支援機関とのネットワークを活用したワンストップサービスなど、課題解決に最適な手法を選択して、きめ細やかな支援を行います。

(2) 事業引継ぎ支援センター（相談無料）

事業引継ぎ支援センターは、県内の事業引継ぎに関する抜本的な支援体制の強化が求められる中、全国で14番目に開設されました。

後継者問題や具体的な事業引継ぎの相談に対して、

①支援施策に関する情報の提供などの助言

②外部専門家の派遣、事業引継ぎ計画の策定等の支援等を行います。

また、相談内容に応じて支援機関への橋渡しを行い、さらには後継者とのマッチングなどの支援を行います。

3 三重県版中小・小規模企業表彰制度「みえ産業企業選」(仮称)の創設

本県の中小・小規模企業は経済をけん引し、地域社会の持続的な形成や維持に寄与している重要な存在です。

一方、こうした中小・小規模企業は素晴らしい技術や製品(サービス)を持っていても十分にPRできていない、といったところが少なくありません。

このため、県ではこうした企業のうち、下記①～③のいずれかに該当する企業を中小・小規模企業がめざすモデルの1つとして広めていくことを目的として、「みえ産業企業選」(仮称)を創設し、表彰していきたいと考えています。

- ①社員の意欲や能力を最大限に引き出し、働きやすい職場環境を提供している
- ②将来性のある新技術・新製品の開発や、顧客のニーズに合致したサービスを継続的に提供する仕組みがある
- ③地域・社会との関わりを大切にする活動を行っている

今後、本年夏頃を目処に募集を開始し、有識者等による書類選考・現地調査を経た後、11月14日開催予定の「みえリーディング産業展」において知事表彰を実施したいと考えています。

(6) 三重県企業国際展開の推進について

1 産官学金一体となって取り組む国際展開のプラットフォーム構築

県内企業の国際展開のハードルを下げるためには、県が前面に立って海外とのネットワークの構築・強化を進めるとともに、官民一体となった国際展開のためのプラットフォームとなる協議会を立ち上げ、取組を推進していく必要があります。

このため、平成26年6月、産学官金が一体となって「三重県企業国際展開推進協議会」を設立しました。

今後は、本協議会を通じて、県内企業の課題やニーズを把握したうえで、関係協議会等と連携して海外ミッション団を派遣し、現地政府・関係機関等とネットワークを構築するほか、海外セミナーの開催や国・地域別の部会事業の展開など、支援機関等と連携して、幅広い分野での県内企業の海外展開を支援していきます。

また、同協議会と、観光誘客、農林水産品等の輸出促進及びライフィノベーションに係る海外展開の各協議会と連携して、情報共有や中期戦略の協議等を行う「みえ国際展開推進連合協議会」(仮称)を平成26年7月(予定)に設立します。

2 三重県企業国際展開推進協議会

(1) 協議会の機能

- ・三重県海外ビジネスサポートデスク(中国、アセアン)など本県の現地窓口機関を通じて、相手国の関係機関と調整を行い、海外ミッションの形成やフォローアップ、県内企業の共同販路開拓につなげます。
- ・海外からのバイヤーを招聘した商談会や海外展開に関するセミナーなど、海外ビジネスの創出機会を提供します。
- ・企業のニーズ、課題に対応した国・地域別及び分野別の部会を設置し、現地のニーズや展開時の課題、法制度等について共同で調査・研究を行います。
- ・「三重県農林水産物・食品輸出促進協議会」及び「三重県外国人観光客誘致促進協議会」等と連携して、共同で海外販路開拓を行っていきます。

(2) 協議会の組織体制

①企画運営委員会

各部会の座長、県内企業団体、金融機関、大学、支援機関等の実務責任者の委員で構成し、協議会の運営、ミッション派遣やセミナーの開催など協議会の事業及び部会等の設置について協議を行います。

②全体会

協議会の全会員企業等で構成し、セミナー、交流会等を通じて、三重県の海外展開に関する情報共有・発信や新たな会員企業等呼び込みのPR等を行います。

③部会

国・地域別または分野別等、共通のニーズや課題を有する参加企業等で構成する部会を設置し、各部会において参加企業のニーズ・課題等に対応した独自取組(ex. セミナー、調査研究、共同販路開拓、新商品の開発等)を展開します。

(7) 首都圏営業拠点「三重テラス」の実績及び今後の取組について

首都圏営業拠点「三重テラス」は、平成 25 年 9 月 28 日のオープンから約 8 か月が経過し、来館者数は 399,945 人となりました（5 月末現在）。

ショップ、レストラン、多目的ホールにおいて、三重の魅力効果を効果的に情報発信し、三重への誘客や販路拡大につながる取組を展開しています。

1 今年度の新たな取組

(1) 熊野古道関連イベント

熊野古道世界遺産登録 10 周年を記念し、6 月下旬から 7 月にかけて、2 階多目的ホールにおいて、県、熊野市、東紀州地域振興公社等が主催するセミナー、展示会、特産品 PR 等のイベントを集中的に開催します。

(2) COOL MIE トークライブ

三重への共感を呼ぶ、三重ファンづくりの場、クールな三重を創造し、三重の「旬」を発信する場として、多方面から著名なゲストを迎え、知事が聞き手、時には語り手となり、三重の“旬”な「ヒト」・「モノ」・「コト」を発信するトークを行います。（年間 10 回程度開催予定）

(3) 生鮮品の販売を行うマルシェの実施

生鮮品の販売機会の拡大を図るため、ショップ内及び隣接する路面（新浮世小路）においてマルシェを開催し、旬の青果等の販売を行っています。（試験的に 3 月、5 月実施）

(4) テストマーケティングの拡大

県内事業者のトライアル支援の取組として、3 月からショップ内にテストマーケティングコーナーを展開しており、順次、取扱商品数を拡大しています。（取扱例：海藻配合の石鹸、入浴用ハーブ、お米、飴、サブレ等）

(5) 三重テラスオリジナルツアーの企画

首都圏から三重県への誘客をはかる企画の第一弾として、県と紀北町、運営事業者、旅行会社が連携し、三重テラスオリジナルツアーとして、7 月に首都圏の小中学生を対象とした紀北町への 3 泊 4 日のバスツアーを企画し、現在募集しています。

2 成果指標及び運営状況の評価

「三重テラス」の成果を評価する指標として、①来館者数、②商品開発や販路拡大につながった件数、③三重テラスサポート会員数、④メディア掲載件数の 4 つの指標を設定し取り組んだ結果、すべての指標において目標値を達成しました。

(1) 来館者数

	H25 年度	H26 年度	H27 年度	H28 年度	H29 年度
目標値	11 万人	26.4 万人	29 万人	31.9 万人	35 万人
実績値	27.5 万人				

(2) 商品開発や販路拡大につながった件数（累計）

	H25 年度	H26 年度	H27 年度	H28 年度	H29 年度
目標値	10 件	50 件	90 件	130 件	170 件
実績値	38 件				

(3) 三重テラスサポート会員数（累計）

	H25 年度	H26 年度	H27 年度	H28 年度	H29 年度
目標値	1,350 人	4,490 人	7,890 人	11,580 人	15,580 人
実績値	1,359 人				

(4) メディア掲載件数

	H25 年度	H26 年度	H27 年度	H28 年度	H29 年度
目標値	30 件	30 件	30 件	30 件	30 件
実績値	89 件				

○ アドバイザリーボードの意見

5月26日に「三重テラス運営にかかるアドバイザリーボード」を開催し、成果指標や運営状況に関する評価・助言をいただきました。

構成メンバー ※敬称略

本保 芳明（座長／首都大学東京 都市環境科学研究科 観光科学域 教授）

力石 寛夫（トーマス アンド チカライシ株式会社 代表取締役）

田中 章雄（株式会社ブランド総合研究所 代表取締役）

田嶋 雅美（株式会社フランチャイズアドバンテージ 代表取締役 CEO）

手島麻記子（株式会社 彩食絢美 代表取締役）

中井 博胤（株式会社ぐるなび ブランド戦略室長付事務局長）

生駒 芳子（三重テラス クリエイティブディレクター）

① 成果指標に関する意見

- ・4つの指標についてすべて目標を達成しており、総じて現状は好調であると評価できる。
- ・来場者数や売上は季節要因や外部環境に大きく影響を受ける。6月から夏場にかけては確実に落ちていくと思われる。
- ・昨年度はオープン効果、式年遷宮効果、最近のコレド効果など特殊な外的要因があった。それらを除いた本来の実力をまだ判断できる状況ではないため、現時点で来場者数の目標値を修正することは時期尚早と思われる。オープン後、1年から1年半の状況を見て判断するほうがよい。

② 三重テラス運営に関する意見

【新規顧客開拓とリピーターの確保】

- ・新規顧客の開拓とリピーターの確保の両立が重要。リピーターが増えれば購買率は自然に上がる。
- ・今はコレド効果により見に来るだけの人がたくさん来ているが、このチャンスにリピートにつながるための仕掛けを打っていく必要がある。
- ・人を引き付けるためには、季節ごとに目玉商品を置くこと、旬の商品（野菜等）、テーマ性を持った商品構成などの工夫が必要。

- ・リピーター確保のために、ここに来ないと買えない商品の販売やオリジナル商品のブランディング、ギフトセットの開発などを充実させていく必要がある。
- ・接客や定番商品など変わらないサービスの質を維持することで、顧客の満足度を高めることがリピーターの確保につながる。

【機能の連動】

- ・多目的ホールによる伝統工芸品の展示とショップでの関連商品の販売など、1階と2階との連動を今後さらに充実していく必要がある。
- ・ショップとレストランとの連動も重要である。レストランを利用すれば関連商品を割引販売するなどのサービスについても検討してはどうか。

【スタッフ対応】

- ・ショップに関しては、商品説明、声掛け、レジ等のオペレーションなどにおいて、まだまだ改善の余地がある。
- ・レストランは相対的にスタッフのモチベーションが高く、料理の説明も丁寧である。料理自体も当初のイタリアンだけではない郷土色を打ち出すなどの改善点が見られる。

【情報発信】

- ・一般のお客様向け、会員向け、メディア向けなどのターゲットを絞った情報発信やメルマガによる情報発信などについても本格的に取り組んでいく必要がある。
- ・WEB（SNS）でメディアを刺激していく情報発信は非常に有効である。

【その他】

- ・福德神社の改修を契機とした連携なども、周辺との回遊性の確保に有効であるとともに、お伊勢さんのイメージともマッチするので検討してはどうか。

3 今後の取組方向

昨年度の実績やアドバイザーボード等からの意見をふまえ、今後さらなる取組を進めていくこととしています。具体的には次の5つの項目です。

- ・コレド2・3のオープンで増加傾向にある、若年層をはじめとする日本橋地区への新たな客層にアピールするため、買いやすい価格帯で三重の魅力を伝える商品のラインナップの充実や若者やファミリー層を意識したイベントの開催
- ・来館者が減少すると予測される夏季に向けて、天候や季節に左右されることの少ないリピーターや目的客を確保する取組や、地ビール、地サイダーやアイスクリームの販売など、涼感と季節感あふれる店舗づくり
- ・隣接する福德神社の秋（10月）の改修完成に対応した江戸と三重のつながりを感じさせる取組など、コレド2・3方面から三重テラス方面へ新たに形成されつつある動線を面につなげ、増加していく日本橋地区の集客を三重テラスに取り込む仕掛けづくり
- ・ギフトや忘年会・パーティーなど年末需要の取り込み
- ・メディアの特性に応じたきめ細かな情報発信

こうした取組を着実に実施し、さらなる三重テラスへの集客力の強化とリピーターの獲得につなげるための運営改善に努め、常に旬の魅力を感じていただける拠点づくりに取り組みます。

三重テラスの運営状況について(5月次速報)



MIE TERRACE

- ・平成26年5月の来館者数は 71,728人で、これまでで最高の来館者数となりました。
なお、オープン以降の来館者数累計は399,945人です(平成26年5月末現在)。
- ・ショップ、レストラン、多目的ホールにおいて、三重の旬の魅力や季節行事・イベントに対応した旬の情報を発信し、三重への誘客や販路拡大につながる取組を展開しています。

TOPICS

ショップ

- 新浮世小路において、5月24日、25日に青果の販売を行うマルシェを開催
- 夏を感じさせる、伝統工芸の日永うちわを販売開始(伊勢型紙、松阪木綿等のうちわ)
- 季節に合わせた新茶の試飲等の実施
- テストマーケティング商品の充実(ご縁米、美麗珠(飴)、伊賀の飛猿サブレ等)
- 6月7~8日にYUITOで開催された、野村不動産顧客向けイベントで、伊勢茶、万古焼の販売、三重テラスのPRを実施
- 映画「WOOD JOB!」公開と連携した特設コーナーの設置、映画の半券チケットでの割引サービスの実施(5月10日~31日)



新浮世小路でのマルシェ

レストラン

- 6月3日からグランドメニューの変更を行い、新メニュー提供
 - ・三重の夏(尾鷲シビマグロの自家製サルシッチャとフレッシュトマトのスパゲッティ)
 - ・三重県産夏みかんの山村牛乳寒天
 - ・三重県産岩牡蠣 等
- 映画「WOOD JOB!」公開にあわせ、映画の半券チケットでの割引サービスの実施(5月10日~31日)、升酒の提供



新茶の試飲・販売

多目的ホール



- 「WOOD JOB!」の原作・ロケ地は三重なんです展(5月9~16日)
- 映画「WOOD JOB!」の公開を記念し、三重県内でのロケ風景やメイキング映像の紹介、木工品の展示等[1,518名来場]

- 三重の幸 伊勢のおもてなしフェア(5月18日)
- 「三重の幸」を使ったメニューの試食やレシピの紹介等による来場者へのおもてなし[800名来場]

- 南三重を楽しむ!! 夏の観光キャンペーン(5月24~25日)
- 南三重地域10市町の観光PR、お茶やみかんの試食を実施[500名参加]

DATA

1. 来館者状況

(単位:人)

	H25.9~H26.3	H26.4	H26.5	累計
ショップ	227,655	46,894	62,688	337,237
レストラン	17,033	3,015	4,025	24,073
多目的ホール	30,555	3,065	5,015	38,635
合計	275,243	52,974	71,728	399,945
一日当たり平均	1,521	1,766	2,314	1,653

2. 売上状況

(単位:千円)

	H25.9~H26.3	H26.4	H26.5	累計
ショップ	60,616	8,656	11,866	81,138
レストラン	46,030	7,230	9,677	62,937
合計	106,646	15,886	21,543	144,075
一日当たり平均	589	530	695	595



三重テラス2階 イベントスペース (平成26年7月) イベントカレンダー

MIE TERRACE

※平成26年6月12日現在のスケジュールです。

※イベント内容、日程等は変更されることがあります。

※名称は仮称のものが含まれます。

日	曜	実施時間	催し物名称	概要	対象	主催
						所属・団体名
6/30	月	10:00 ~ 18:00	~幸結びの路~ 世界遺産登録10周年記念熊野古道 伊勢路&東紀州観光展 【第2弾】	7月、熊野古道伊勢路が世界遺産に登録されて10周年を迎える 週に東紀州地域のたくさんの魅力を写真やポスター・パンフレット などを通じて紹介。 川の世界遺産を下るときに乘る船「三反帆」のミニチュア模型 や、日本一と呼び声高い「熊野大花火大会」でも使用される、本 物と同じ大きささと重さの「一尺玉花火」の模型を展示。 そして、登録記念日7月7日~9日の間にこの観光展に来られた 方の中から抽選で東紀州地域の特産品などが当たる催しもご 用意。 さらに、現地「語り部さん」による「熊野古道伊勢路」のパーチャ ル体験も実施。	一般 ※一部要事 前申込有	東紀州地域振興公社 【連絡先】0597-23-3784
~7/10	木	初日は13:00から 最終日は16:00まで				
11	金	11:00 ~ 20:00	四日市STYLE ~夏の涼を感じる よっかいち~	四日市市は、東海道の43番目の宿場町として栄え、商業、工 業の町として発展。夏ゆかりの物産である伝統工芸品 日永う ちわ「東海道五十三次」の展示のほか、土鍋、急須、蚊やり豚な どの四日市萬古焼やかぶせ茶を紹介。また夏の風物詩である 「大四日市まつり」と「四日市花火大会」を紹介。 四日市萬古焼による水出しのかぶせ茶Cafe(試飲・試食)。 11日は、18時より四日市市観光大使のライブと四日市ゆかりの バイオリニストとのふるさとトークを開催。	一般	四日市市東京事務所 【連絡先】03-3263-3036
~12	土	10:00 ~ 17:00	東海道五十三次 四日市宿 in 三重テラス			
13	日	10:00 ~ 20:00	伝統工芸品とお花とのコラボレーシ ョン	四日市萬古(ばんこ)焼・伊賀くみひもをはじめとする三重県 の伝統工芸品と花のコラボレーション作品の展示を中心に、パ ヒュームフラワーのワークショップや浴衣でのブーケショーをお 楽しみください。 展示 : 10:00~20:00 ワークショップ : 13:00~14:00 (事前申込・材料費1,500円が必要です) 浴衣ブーケショー: 15:00~16:00	一般 ※一部要事 前申込有	社団法人IFA本部 【連絡先】03-3543-8806
18	金	10:00 ~ 17:00	ビッグ・サニー市	度会町、南伊勢町、玉城町がそろって町の魅力をPRします。 18日は三町の魅力PRです。19日は「南伊勢町の日」としてまぐ ろの解体ショーと試食を行います。また20日は、「度会町の日」 として手もみ茶の講演・試飲を行います。希望者には手もみの 体験をしていただけます。最終日21日は「玉城町の日」としてイ ベントを開催します。 ※ イベント内容は変更になることがあります。	一般	度会町産業振興課 【連絡先】0596-62-2416
~21	月祝					
23	水	10:00 ~ 17:00	つディ	津市の物産・観光の情報発信を行います。	一般	津市東京事務所 【連絡先】03-6672-6868
25	金	トーク 19:00 ~ 20:00 交流会 20:15 ~ 21:00	第4回 COOL MIE トークライブ	芸能界きっての食通・ワイン通として知られる俳優の辰巳琢郎さ んをゲストにお迎えし、三重の“旬”の食などについて語って いただきます。 出演者: 辰巳 琢郎さん(俳優) 鈴木 英敏(三重県知事) コーディネーター: 生駒 芳子さん(ファッションジャーナリスト) (参加費)トーク 無料、交流会 3,000円	事前申込	三重県営業本部担当課 【連絡先】03-5542-1035
26	土	13:15 ~ 17:00	三重・奈良・鳥根連携「記紀神話講座」 鳥根・三重連携講座「記紀神話・伊勢・出雲 ~聖地を旅する~」	上方落語家・桂文我氏による古事記についての楽しいお話をほ じめ、万九千神社宮司・錦田剛志氏による出雲大社と縁結び神 話について、文筆家・千穂清美氏による女神の聖地・伊勢神宮 についてのお話、そして、締めくくりには3名によるトークを行 います。記紀を通して、三重や鳥根の魅力に迫ってください。	事前申込	三重県観光政策課 【連絡先】059-224-2077
27	日	10:00 ~ 20:30	『鈴鹿8時間耐久ロードレース』イベント “風になる!”	日本最大のバイクレース、「鈴鹿8時間耐久ロードレース」の決 勝をパブリックビューイングで体験! パリダガを完走するなどバ イクを愛する桐島ローランドさんをお迎えしてのトークライブ、8 耐グランプリマシンや写真パネルの展示、レースを盛り上げるラ イブ演奏、三重県自慢の美味しい飲食など、8耐・鈴鹿サーキット ・三重県の魅力をつぶつぶり味わってください!	一般 ※一部要事 前申込有	三重県営業本部担当課 【連絡先】03-5542-1035
28	月	19:00 ~ 20:30	熊野古道セミナー	熊野古道の世界遺産登録10周年イベントとして、熊野古道の魅 力を伝えるセミナー(全3回)。 第2回目は、金峯山修験本願寺総長の田中利典氏による「吉 野大峯から見た世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」の意義」 についてを開催。	受付終了	三重県東紀州振興課 【連絡先】059-224-2193

三重テラス MIE TERRACE

◆ 〒103-0022 東京都中央区日本橋室町2-4-1 YUITO ANNEX 1・2階

ショップ TEL 03-5542-1033(10:00~20:00)
レストラン TEL 03-5542-1030(11:00~23:00)
イベント・観光案内 TEL 03-5542-1035(10:00~20:00)

◆ 無休(年末年始(12月30日~1月1日)、施設休業日を除く)

◆ 交通アクセス
東京メトロ銀座線・半蔵門線「三越前」駅直結
JR総武線快速「新日本橋」駅直結



(8) 三重県観光キャンペーンについて

平成 25 年 4 月から 3 年間に亘り実施中の「三重県観光キャンペーン～実はそれ、ぜんぶ三重なんです！～」で、「三重県の知名度の向上」「県内の周遊性・滞在性の向上」「三重ファン・リピーターの拡大」を目指した取組を進めています。

1 県内の周遊性・滞在性を高める取組

(1) みえ旅パスポート・みえ旅案内所・みえ旅おもてなし施設

観光客の県内での周遊性、滞在性を向上させ、県内各地の魅力に触れていただくことで、三重ファン、リピーターを増加させることを目指し、「みえ旅パスポート」の発給や、道の駅はじめ、宿泊施設など県内の様々な施設に対する「みえ旅案内所」及び「みえ旅おもてなし施設」への協力を働きかけています。

- ・みえ旅パスポート発給数（6月1日現在） 236,989 件
- ・みえ旅案内所設置数（6月2日現在） 91 施設（当初：68 施設）
- ・みえ旅おもてなし施設（6月1日現在） 856 施設（当初：640 施設）

(2) みえ旅パスポート八十八カ所めぐりスタンプ帳

みえ旅パスポートの 20 万部突破記念として、プレミアムステージを達成された皆様に、さらに“みえ旅”を楽しんでいただけるよう、「みえ旅パスポート八十八ヶ所めぐりスタンプ帳」を配布し、三重ファン、リピーターの増加に努めています。

(3) 地域部会連携事業

テーマ性や訴求力のある県内各地域の特色ある資源を活用した連携事業を、5 つの地域部会において、市町、観光協会等と連携し実施しています。

なお、連携事業は、上期、下期に分けて各エリアごとに 2 回実施しています。

2 官民一体となった情報発信

(1) 交通事業者等と連携した情報発信

近畿日本鉄道、東海旅客鉄道、三重交通、中日本高速道路、中部国際空港等と連携し、観光客の周遊促進及び再来訪を訴求する情報発信を展開しています。

①速旅「実はそれ、ぜんぶ三重なんです！」ドライブプランの実施

熊野古道世界遺産登録 10 周年や紀勢道の全線開通に伴い、自動車による観光客の周遊性を向上させるため、中日本高速道路と連携した料金の割引企画を実施します。

期 間：平成 26 年 7 月 1 日（火）～平成 26 年 11 月 30 日（日）

エリア：東京発着エリア、県内周遊エリア

② JR 東京駅 PR イベントの開催

JR 東海と連携し、東京駅において、三重の魅力を発信するイベントを開催します。

開催期間 平成 26 年 7 月 7 日（月）～9 日（水）

開催場所 JR 東京駅八重洲中央口

(2) ツーリズムEXPOジャパンへの出展

国内旅行を目的とする日本最大級のイベント「旅フェア日本」と、海外旅行を目的とするアジア最大級のイベント「JATA旅博」の2つのイベントが統合された旅の総合イベント「ツーリズムEXPOジャパン」に出展し、三重の魅力を発信することで、本県への誘客促進につなげます。

開催期間：平成26年9月25日（木）～28日（日）

開催場所：東京ビッグサイト東展示棟・会議棟

3 その他

(1) 平成26年度第1回おもてなしセミナー

県内の観光案内に携わる方々が、来訪者と快適な関係を築き、来訪者に再び三重を訪れたいと思っていただけるような「おもてなし」の心を育むため、みえ旅案内所、市町等の職員を対象にセミナーを開催します。

日時 平成26年6月19日（木） 15:00～

対象 みえ旅案内所、各市町、各観光協会、観光事業者 等

内容 講演 演題：「声と言葉で心に響く♪おもてなし」

講師：川邊 暁美 氏（フリーアナウンサー）

参加者 120名程度

(2) 三重県観光情報提供会

県内誘客の主要エリアとなっている関西圏及び中京圏のメディアを対象に、三重県観光キャンペーンを始め、三重県の最新の観光トピックスや旬の観光情報を提供することで、各媒体を通じた情報発信を促進し、県内への誘客につなげます。

【名古屋会場】

日時 平成26年6月30日（月）14:30～17:00

場所 名古屋三交ビル

内容 発表会：各市町、観光キャンペーン事務局等からの情報提供
交流会：参加者

【大阪会場】

日時 平成26年7月1日（火）14:30～17:00

場所 ハートンホテル北梅田

内容 発表会：各市町、観光キャンペーン事務局等からの情報提供
交流会：参加者

(3) みえ旅おもてなし施設の紹介

キャンペーンにご協力（みえ旅パスポートの特典）いただいている「みえ旅おもてなし施設」について、フェイスブック、LINE等を活用し、「みえ旅パスポート」提示により受けられる特典や、「みえ旅おもてなし施設」の魅力等を定期的に情報発信することで、観光客の県内の周遊性の向上に努めています。

現在、「みえ旅おもてなし施設」を紹介するガイドマップを作成しています。

(9) 各種審議会等の審議状況の報告について

(平成26年2月17日～平成26年6月2日)

(雇用経済部)

1 審議会等の名称	三重県大規模小売店舗立地審議会
2 開催年月日	平成26年2月24日(月)
3 委員	【会長】名城大学 教授 松本幸正 ほか3名出席
4 諮問事項	<ul style="list-style-type: none"> ・「(仮称) ホームセンターコーナン松阪店」(松阪市)の新設に係る届出について(2回目) ・「(仮称) イオンタウン伊賀」(伊賀市)の新設に係る届出について(2回目) ・「(仮称) SD四日市日永店」(四日市市)の新設に係る届出について(1回目)
5 調査審議結果	<p>(1) 「(仮称) ホームセンターコーナン松阪店」(松阪市)の新設に係る届出について(2回目)</p> <p>事務局から、前回の指摘事項1点及び確認事項2点(一方通行の安全運用、軽自動車の駐車場内運用、周辺住民への配慮の3項目)に対する設置者側の回答について、説明を行いました。</p> <p>設置者側の回答は概ね妥当なもの判断され、今回で結審しました。</p> <p>(2) 「(仮称) イオンタウン伊賀」(伊賀市)の新設に係る届出について(2回目)</p> <p>事務局から、前回の指摘事項6点及び確認事項3点(駐車場出入口の安全対策、荷さばき施設の安全運用、騒音防止対策、悪臭対策等の9項目)に対する設置者側の回答について、説明を行いました。</p> <p>委員から、夜間騒音に関する説明、急勾配なスロープの安全対策、排水処理計画、出入口付近の来客車両の安全対策等について、3点の指摘事項と2点の確認事項があり、継続審議となりました。</p> <p>(3) 「(仮称) SD四日市日永店」(四日市市)の新設に係る届出について(1回目)</p> <p>事務局から、届出資料に基づき、駐車需要の充足等交通に係る事項、騒音の発生に係る事項及び廃棄物に係る事項等について説明を行いました。</p> <p>委員から、駐車場出入口における来客車両の安全対策、近隣施設との継続協議等について3点の指摘事項と1点の確認事項があり、継続審議となりました。</p>
6 備考	

1 審議会等の名称	三重県大規模小売店舗立地審議会
2 開催年月日	平成26年3月14日(金)
3 委員	【会長】名城大学 教授 松本幸正 ほか2名出席
4 諮問事項	・「(仮称)イオンタウン伊賀」(伊賀市)の新設に係る届出について(3回目) ・「(仮称)SD四日市日永店」(四日市市)の新設に係る届出について(2回目)
5 調査審議結果	<p>(1)「(仮称)イオンタウン伊賀」(伊賀市)の新設に係る届出について(3回目)</p> <p>事務局から、前回の指摘事項3点及び確認事項2点(夜間騒音に関する説明、急勾配なスロープの安全対策、排水処理計画、出入口付近の来客車両の安全対策等の5項目)に対する設置者側の回答について、説明を行いました。</p> <p>設置者側の回答は概ね妥当なものと判断され、今回で結審しました。</p> <p>(2)「(仮称)SD四日市日永店」(四日市市)の新設に係る届出について(2回目)</p> <p>事務局から、前回の指摘事項3点及び確認事項1点(駐車場出入口における来客車両の安全対策、近隣施設との継続協議等の4項目)に対する設置者側の回答について、説明を行いました。</p> <p>設置者側の回答は概ね妥当なものと判断され、今回で結審しました。</p>
6 備考	

1 審議会等の名称	三重県大規模小売店舗立地審議会
2 開催年月日	平成26年4月17日(木)
3 委員	【会長】名城大学 教授 松本幸正 ほか3名出席
4 諮問事項	・「(仮称)四日市日永商業施設」(四日市市)の新設に係る届出について(1回目)
5 調査審議結果	<p>「(仮称)四日市日永商業施設」(四日市市)の新設に係る届出について(1回目)</p> <p>事務局から、届出資料に基づき、駐車需要の充足等交通に係る事項、騒音の発生に係る事項及び廃棄物に係る事項等について説明を行いました。</p> <p>設置者側の回答は概ね妥当なものと判断され、今回で結審しました。</p>
6 備考	

1 審議会等の名称	三重県大規模小売店舗立地審議会
2 開催年月日	平成26年5月23日(金)
3 委員	【会長】名城大学 教授 松本幸正 ほか4名出席
4 諮問事項	<ul style="list-style-type: none"> ・「(仮称) ホームセンターパロー松阪店」(松阪市) の新設に係る届出について(1回目) ・「(仮称) 鈴鹿ラッツ」(鈴鹿市) の新設に係る届出について(1回目)
5 調査審議結果	<p>(1) 「(仮称) ホームセンターパロー松阪店」(松阪市) の新設に係る届出について(1回目)</p> <p>事務局から、届出資料に基づき、駐車需要の充足等交通に係る事項、騒音の発生に係る事項及び廃棄物に係る事項等について説明を行いました。</p> <p>委員から、側道における渋滞対策について1点の指摘事項があり、継続審議となりました。</p> <p>(2) 「(仮称) 鈴鹿ラッツ」(鈴鹿市) の新設に係る届出について(1回目)</p> <p>事務局から、届出資料に基づき、駐車需要の充足等交通に係る事項、騒音の発生に係る事項及び廃棄物に係る事項等について説明を行いました。</p> <p>委員から、経路案内の充実、駐車場内の安全対策、騒音の住宅及び介護施設への配慮等について5点の指摘事項と1点の確認事項があり、継続審議となりました。</p>
6 備考	